

リメンバー名古屋・遠足 7月21日

2015年4月、第21回を最後に休止していましたが「遠足の会」ですが、4年ぶりに行くことになりました。

それまで毎年春・秋の2回ずつ、愛知牧場、魚太郎などに、遺族会参加のみなさまと一緒に行く「遠足」を行っていました。

「遠足」は、日常を少し離れ、共に時間を過ごすことで、「わかちあいの会」の時間だけでなく、日ごろからお互いに支えあえる関係を築くことができたらという思いから行っているものです。



2015年4月愛知牧場にて

*遠足でみなさまの写真を撮ることはありません。

今回、名古屋市緑の大高緑地公園近辺でのバーベキューを予定しています。みなさまのご参加をお待ちしています。

日時 : 2019年7月21日(日) 11時頃～15時頃

参加要件 : リメンバーの遺族会に参加したことのある方

参加費 : 3千円～4千円程度 (BBQ代金)

申し込み : **7月13日(土)まで。**

遺族会の時に直接お知らせいただくか、

メール (remember_nagoya@yahoo.co.jp) または、

FAX : 020-4668-8925 で

お名前 (ニックネームでも可)、

連絡先 (電話、メールなど。当日連絡ができるもの)

をお知らせください。

「グリーフサポートあいち こどもの森」 のご紹介

身近な人を亡くした子ども向けのグリーフサポートの場がなかなかない中で、リメンバー名古屋にもスタッフとして関わっていた方がこのような場を作りましたので、紹介させていただきます。

<https://profile.ameba.jp/ameba/griefsaichi>

<https://ja-jp.facebook.com/griefsaichi/>

(以下ホームページより抜粋)

この東海地方に今まで無かった、身近な人を亡くした子どもたちのグリーフケアする場を作りたいという思いで、サポートステーションを立ち上げることになりました。

子どもとその保護者の方の手助けができるように、活動をしていきたいと考えています。

次回の遺族会

第93回

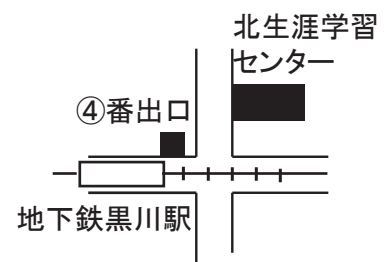
6月30日(日) 13:15から

名古屋北生涯学習センター

地下鉄名城線「黒川」下車

(4番出口)よりすぐ

参加費: 500円



その次は・・・

第94回 2019年8月18日(日)

北生涯学習センター

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。

パソコンの方

<http://will.obi.ne.jp/remember/>

携帯電話の方

<http://www.will.obi.ne.jp/m/>

電話案内(録音でのご案内)

090-8544-9408

スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。

詳しくはお問い合わせください。

新聞郵送をご希望の方へ

1月～6月末までのお申し込み(前期)・・・1000円 もしくは 82円切手(80円切手も可)13枚

7月～12月末までのお申し込み(後期)・・・500円 もしくは 82円切手(80円切手も可)7枚

お申込みは、郵便番号・住所・氏名を記入の上ご送金いただくか、切手をご郵送ください。

近隣の遺族会のご案内

次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くされた方を対象に、遺族会「ディアレスト (Dearest)」が開催されています。

日時: 2019年7月28日 (日) 13:30-16:00

場所: 名古屋市中村生涯学習センター
地下鉄東山線「本陣」駅

対象: 家族以外の大切な人(恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など)を自死(自殺)で亡くされた方

参加費: 500円

連絡先: the.dearest1@gmail.com

<http://dearest.heya.jp>

次回「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」のご案内

日時: 2019年7月15日(月・祝)
14:00～16:00 (開場 13:45)

場所: 名古屋市政資料館 参加費:500円

連絡先: cocoroibasyo@yahoo.co.jp
090-4447-1840

<http://cocoroibasyo.org/>

次回「いっぷく処」のご案内

さまざまな宗派の僧侶の方が集った「いのちに向き合う宗教者の会」により、「いっぷく処」が定期的で開催されています。平日午後での開催になります。

対象: 大切な方を自死で亡くされた方

日時: 2019年10月3日(木)

14:30～17:00(開場14時)

場所: 東別院本堂下広間 (地下鉄東別院下車)

主催: いのちに向き合う宗教者の会

連絡先: info@inochi.in <http://inochi.in/>

その他、近隣の自死遺族のわかち合いの会

岐阜「千の風の会」・・・

問い合わせ: 岐阜県精神保健福祉センター
058-231-9774

浜松「浜松わかちあいの会」・・・

問い合わせ: 浜松市精神保健福祉センター
053-457-2709

その他、全国に自死遺族の分かち合いの会があります。詳しくはお問合せください。

りめんばー

先日、仙台に行く機会がありました。震災前も含めて、全くの初めての地でした。

海に近いところには、震災遺構として、小学校の建物がいくつかが震災の時のまま保存されていました。田畑の続く中、その建物だけがぽつりと、異様に建っているのです。4-5階もある大きな鉄筋コンクリートの校舎のある小学校なのに、周りには人家も他の建物も何もないのです。

少し周囲を歩いてみると、広い空き地が広がり、その前に「注意：建物の基礎など危険な箇所があり、立入禁止」と看板が立っていました。そこは集落があった場所だったのでした。

遺構として、震災の記憶を呼び覚ますようなものを残すのは、当事者の方々からするとつらいことだと思います。しかし、全くの部外者としてその地に立つ者には、その遺構があってはじめて、震災のつらさを少しばかり感じ取れるのも確かです。確かにそこには、亡くなった者、遺された者の悲しみがありました。乗り越えるとか、忘れることはまだ許されない、大地から響く深い悲しみのように思いました。

自死に限らず個別の死の場合、その死を多くの人と共有できる遺構のようなものはなかなかありません。死に至るまでの物語に接点を見出すことは難しい場合がほとんどです。しかし、その死によって遺された者同士は、悲しみ、苦しみを少しずつでも共有できるように思います。リメンバー名古屋は「身近な人が自死」ということ以外、すべてが違うかもしれない人たちが集まる場所です。そこに共有し分かち合えるものがあるからこそその場なのでしょう。

もちろん震災で身近な人を亡くした方々の思いは十分にはわかりません。それでも「身近な人を突然亡くした」悲しみ持つ者として、その地を踏みしめ感じながら、しばらく歩いていたのでした。(KN)